



# 産婦人科勤務医から保健 所長になつて

村上保健所 所長 佐々木 綾子  
(昭和五十四年卒)



私が新潟 大学医学部 産科を卒業して 昭和五十四 年当時は、 医学部定員 百二十人中、女子学生は七人で した。インターン制度も、医師 臨床研修制度もなく、卒業と同 時に希望する科に入局するシス テムになっていました。

何故、産婦人科を選んだの か？ベッドサイドで臨床実習に 臨み、トラウバを妊婦さんのお 腹にそとと当て、胎児心音を聞 いた時、その力強い拍動に命の 神秘を感じました。そして、初 めて経験した出産現場では、新 たな生命を生み出す女性の原始 の姿に感動し、これを見守りお 手伝いできる産科を選ぼうと決 めました。

卒業後の六年間の研修期間中 は、多くの先輩の方々から、教

# 卒業生の皆さんへ

国立病院機構 西新潟中央病院 穂 莉 万李子  
(平成二十年卒)



卒業生の 皆さん、御 卒業おめで とうござい ます。沢山 の先輩が、 医師として一歩を踏み出すこと を大変嬉しく感じています。私 は卒業前に出産し、子育てをし ながらの研修でしたので、その 経験も踏まえて、皆さんにメッ セージを差し上げたいと思いま す。

よく言われることですが、医 師は一生学び続ける職業です。 知識・経験に関しては、諸先輩 方からきちんと教えて頂けま すし、卒業という大きな事を成し 遂げた皆さんなら、自ら十分身 につけることが出来ると思いま す。是非自信を持って頑張つて

# 卒業生の皆さん

県立中央病院 羽 深 将 人  
(平成二十年卒)



卒業生の 皆さん、ご 卒業おめで とうござい ます。春か ら医師とし て働き出す皆さんへのメッセー ジを、ということとで不相応かと れる事への寂しさもありました が、どのような分野であつても、 医師であることを生かせる仕事 は必ずあります。

大学を卒業し医師の世界へ仲 間入りする皆様、医学という学 問は生涯に渡り、あなたに興 味と刺激を与え続け、医療を通 じて人の人生に深く関わる職業 は、期待以上の幸福感と満足感 を与えてくれるでしょう。勇気 を持つて、この大海原に漕ぎ出 して行つて下さい。多くの素 晴らしい先輩たちが皆様を見守 り、支えてくださるはずで

# 卒業生の皆さんへ

厚生連長岡中央総合病院 渡 邊 ゆかり  
(平成二十一年卒)



医師とし てのスター ト ご卒業お めでとうご ざいます。 六年間という長い大学生活を経 て、念願の医師免許を取得し、 つかの間の安堵の思いを感じて いるとともに、四月から始まる

て成長していかなければなりま せん。その為には、知識・経験 を積み重ねて、自分の能力を底 上げしながらも、プライベート を疎かにしないように、日々時 間を遣り繰りしていくことが大 切だと思ひます。私自身家庭と 仕事の両立の為に、時間の調整 に難渋することもまだまだあり ますが、メリハリのある時間配

# 祝・卒業

新潟臨港病院 茂 木 崇 治  
(平成二十二年卒)



六年生の みなさん、 国家試験お 疲れ様です。 国家試験おめ とうござい ます。 国家試験直後から合格発表ま での約一ヶ月間、合否の不安を 常に抱えながらも、学生時代に 出会ったかけがえのない最高の 仲間たちと共に、最後の長期休 けから勉強していかなくては いけないことは「医療」です。医 療とは患者さんを主体とした 概念です。A病だからB治療薬 を使う、と一対一で対応できる ような機会はほとんどありません。同じ疾患でも患者さんの背 景が異なれば治療法、予後は変 わつていきます。つまりイヤイ ノートや丸暗記して覚えた知識 はあまり役立たないと思つても 過言ではありません。患者さん とそれを取り巻く環境をいかに 把握し、いかに疾患と結び付け て診療していくかが重要です。 そのために必要なのがコミュニ

ケーション能力です。 研修医にとつてコミュニケーション能力は二つの意味で重要 だと思ひます。一つは患者さん とコミュニケーションをとるこ とによつて診断へのヒントがみ えてくることです。それは些細 な世間話でみえてくることもあ ります。ベッドサイドで患者さ んから学べるとはよく言われます が、まさしくその通りだと思ひ ます。二つ目はスタッフとのコ ミュニケーションです。先輩医 師とはもちろんのこと、コメデ ィカルスタッフとのコミュニケ ーションは重要です。様々な視 点から患者さんの状態、背景な どの情報を共有することで患者さんを助けることができます。 また、スタッフと仲良くする ことでアフター・ファイブに何 かいいことがあるかもしれませ ん。

研修医生活までの残されたわ ずかな期間、勉強するのも大事 ですが、たとえば旅行、趣味な どを通じてコミュニケーション 能力を鍛えることはもつと大事 だと思ひます。春から皆さんと 一緒に働けるのをとても楽しみに しています。

研修医だからと多少の失敗は 大目にみてもらえることはあつ ても、医師としての義務と責 任は果たさなければならぬこ と、患者さんに対して医師と しての経験の足りなさは、出来 限りの誠意を尽くして補うこ と、医療の現場では、医師もコ メディカルなど大勢のスタッフ からなるチームの一員であり、 連携と協調を大切にしなければ ならないことなどを反省をこ めて感じています。とにかく要 領が悪くおまけに人見知りな私 は、バナーックに陥つて失敗し、 何度も落ち込みました。それで も指導医の先生方やまわりのス タッフに助けをもらいながら、 毎日充実した研修生活を送つ ています。皆さんも研修をはじ めた最初の一年間で想像し ていた状況とのギャップに落ち 込み、疲れてどうにもならない 時期が来ると思ひます。そんな

みを大いに満喫したと思ひ ます。そして今は、六年間とい う長いようであつたという間に過 ぎ去つた日々を感慨深く思い返 しながら、春からの新生活への 期待と希望(と若干の不安)で 満ち溢れていることでしょう。 この春からは、ほとんどのみ なさんが臨床研修医として、医 療現場に存在することになりま す。今のみなさんは真綿です。 乾いたスポンジです。知識や技 術や良好な人間関係を、ガンガ ンどんどん吸収してください。 乾いたままになつちゃうよ。」 ということも覚えておいてほし いと思ひます。存在するだけで は先生方や看護師さん、仲間や 患者さんとの信頼関係は築けま せん。絆も深まりづらいでしょ う。得られる技術や知識も決し て多くはないはずで、そうなら ないためにも、みなさんは「ス ピード感あふれる真綿」になり ましょう。「積極性あるスポン ジ」になりましょう。社会人に なれば、辛いことも苦しいこと も、時には理不尽なこともある でしょう。心が折れそうになる ことだつてあると思ひます。で すが常にみなさんが「積極的 スポンジ」であらうとさえしてい れば、どんな困難も乗り越えて いけるでしょう。当直が忙しく たつて頑張れるでしょう。仲間 のスポンジ達と励ましあい、切 り磨きできるでしょう。そうす れば二年後には「人間力あるス ポンジ」として、研修を修了で きるのではないのでしょうか。そ してみなさんが二年間の研修で 得た技術、知識、人との繋がりが、きつと一生の財産になつて いくはずで

# 編集後記

ご卒業おめでとうございま す。これから社会人としての第 一歩が始まります。新潟県は皆 さんが思っている以上に医師不 足であり、地域医療崩壊の現実 を目にするのでしよう。夢と 希望を抱いた皆さんの若い力を 必要としています。是非、力を 貸して下さい。医師になる決意 をした時の初心や夢を忘れず に頑張つて下さい。私たちはいつ も皆さんを応援しています。(梨 本)